

## 令和7年度 第1回海津市特別職報酬等審議会 議事録

1. 日 時 令和7年10月20日（月）午前9時55分～10時57分

2. 場 所 海津市役所東館4階 4-1会議室

3. 出席者 委 員：安田 忠夫、菱田 とよ、磯方 直美、神田 春夫、後藤 純二  
伊藤 義美、岡田 均

事務局：近藤総務企画部長、米山議会事務局長、伊藤総務課長、古川課長補佐  
太田係長

### 4. 会議次第

- 1 委嘱状交付
- 2 市長あいさつ（代理：近藤総務企画部長）
- 3 会長選出
- 4 会長あいさつ
- 5 諮問
- 6 職務代理者の指名
- 7 協議

海津市議会議員の議員報酬の額及び海津市特別職の給料の額について

- 8 その他

### 5. 議事録

発言者	内容（要旨）
事務局	開会のあいさつ
	（市長欠席により委嘱状は机上配布とする）
総務企画部長	総務企画部長あいさつ
事務局	（会長の選出方法について説明） 会長の選出を行いますが、何かご意見はありますでしょうか。
委員	事務局へ一任してはどうでしょうか。
事務局	事務局一任というご意見がありましたが、よろしいでしょうか。
	（委員一同 異議なし）
事務局	それでは、事務局から会長の指名をさせていただきます。自治連合会長の伊藤義美委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。
	（委員一同 異議なし）
事務局	伊藤義美委員に会長をお願いしたいと思います。それでは伊藤義美委員、会長席の方への移動をお願いいたします。
会長	会長あいさつ

事務局	続きまして、市長に代わり総務企画部長より、本審議会に諮問書を提出いたします。
総務企画部長	諮問書を読み上げ、諮問書を会長に渡す (諮問書を各委員に配布する)
事務局	(職務代理者の指名について説明) 会長に一任したいと思っておりますが、いかがでしょうか。
	(委員一同 異議なし)
事務局	会長より、職務代理者の指名をお願いします。
会長	岡田委員を指名したいと思います。
事務局	岡田委員を職務代理者として指名することですので、岡田委員よろしく お願いいたします。
	(事務局の自己紹介)
事務局	それでは議事進行を、会長よりよろしくをお願いいたします。
会長	はい、それでは協議に入ります。 「海津市議会議員の議員報酬の額及び海津市特別職の給料の額について」を議 題とします。本日の審議会の議事録の署名については、岡田委員と菱田委員にお 願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いします。なお、本審議会の議事録に つきましては、後日市ホームページにて公表いたします。それでは、事務局より 説明をお願いします。
事務局	(配布資料について説明)
会長	説明が終わりましたので、委員の皆様方から幅広くご意見をいただければと思 います。どのようなことでも構いませんので、ご意見のある方は挙手をお願いします。
委員	この資料をいただいて、見た感想ですけど、確かに海津市の報酬は、他の自治体 に比べると低いと思われるのですが、この現状が適正かどうかという点、海津市 の財政状況は大変厳しいということを我々は日常聞いていますので、それを鑑 みるとやっぱり低くて当然なのかなという感想を持っています。若い議員さん の中には、今子育て中などで今の報酬では大変厳しいとよく聞きますが、彼らは 議員に立候補するとき議員報酬の額はわかっていて、立候補されていると思う ので、それは言い訳にならないと思う。今 500 万ちょっとが議員の報酬ですね。 一流企業は別として、民間に比べると高いという思いがあります。議長・副議長 は別として、議員活動に関わる時間は、年間どれくらいあるのでしょうか。
事務局	議会では、本会議以外に常任委員会や特別委員会、委員の方によっては議会運営 委員会委員の方もおられます。また、広報紙「市議会だより」を出しており、そ の部会へ属されている方などを含めると、おおよそ年間 92 日登庁し活動され ています。
委員	年間に 92 日ですね。議会からいただいた、この資料を見ていると議員報酬につ いて「兼業でなければ生活できない。」と、これは当たり前の事であって、海津

	市議会のレベルだとこれだけで生活しようとして議員になろうという考え方そのものが論外であって、そこを若い議員さんが結構言われますが、この資料の中で議員定数の削減についてはでてこないのですか。確かに他の自治体に比べると、海津市が多いわけでもないし、どちらかというと少ない方ですね。こういう意見は議員の中では出ていないのですか。
事務局	委員がおっしゃられました意見は実際出ております。議員間討議の中で、議員報酬を上げる代わりに議員定数を1名ないし2名を減らしてはどうかというような話は出ました。
委員	出るには出ているのですね。我々としては、議員報酬を上げたければ、真っ先に議員定数を減らして、その分を振り分けて議員報酬を増やせばいいのかなと思います。それと議員さんの中にも、いろんな講習を受けたりして勉強会に出る人はいますが、今、海津市は政務調査費みたいなものは無いですよ。そうやって講習を受けたり、勉強されて費用がかかった分には、海津市が面倒を見るというような方法もあると思います。
事務局	今の政務調査費の話ですが、委員が言われたような話も議員間討議の中で出ました。今現在は、各議員が研修へ行くときは、原則政務活動費はありませんので、自腹で行っている状況です。議員の資質向上のための研修は、政務活動費というものを設けまして、そこから支出してはどうだという話は出ております。
会長	はい、よろしいでしょうか。まだありますね。せっかくの機会ですのでどうぞ。
委員	前の審議会は何年前でしたか。
事務局	令和元年度に開催しております。
委員	松永市長のときでしたよね。教育長の報酬は、教員を退職された方が多いから、退職金をたくさんもらえているということで、給料を下げたらという内容の答申ではなかったですか。その答申書を市長に提出したとき、松永市長は、これに従う必要がないということを、我々の前で言われた記憶があります。教育長の給料をそこまで下げると、部長級の給料と同じになってしまうということも言われた。結局はここで答申を出しても、最終的には議会の判断になりますよね。
事務局	答申を踏まえ、条例改正案を執行部で作成し、議会へ上程するといった流れになります。
委員	議員の報酬もここでこのぐらいにしてください、と決めたって議員さんが結局は決めるというのは、いかがなものかと思います。
会長	はい。できるだけ尊重していただくことを期待しています。よろしいでしょうか。その他の委員の方ご意見をお願いします。
委員	自身の団体の活動は、1箇月に最低3回、色々含めると5～10日出ることが多いです。その中で国や市から活動費をもらい、それでやりくりしていますが、欠員がかなり出てきています。次の担い手がいらないという状況で、どうすれば担い手が増えていくか、どうすれば受けてもらえるのか、そういう話をしている状況の中で、特別職の報酬額を審議する立場がとてつらいです。海津市の財政がかな

	り悪いと聞いていますので、どんなものなのかという意見です。
会長	事務局よろしいですか。ご意見として。その他よろしいですか。
委員	副市長が何をやっているかがわかりません。例えば、市長が公務で欠席の場合は部長がお見えになって、副市長を見たことがないという意見を聞きます。何をやってみえるのかと感じますが、もっと一般・市民の方との触れ合いが、もっと必要じゃないかなと思います。昨日のふれあいマラソンでも、市長欠席、副市長も欠席で、部長が表彰の代理をしていた状況です。ちょっとおかしいのではないかなと思います。
会長	副市長の顔も見えるように、との率直なご意見でした。その他ご質問等ありますでしょうか。
委員	いろんな資料を見せてもらって気になったのが、平成 17 年から平成 24 年に報酬が減額されていますよね。普通、社会情勢物価的にはほとんど上がっていますが、下げた一番大きな理由、そのときの検討状況が気になります。よっぽど何かが悪かった、多分財政状況が悪かったと思いますが、なぜ下げたのかというのはちょっと知りたいです。逆に、今の情勢からいくと今回は今より高くするのが、一つの社会情勢かなと思いますので、そこを踏まえて検討すべきかと私は思いました。
会長	ありがとうございます。前回、減額したときの事情とか背景について、事務局何かございますか。海津市だけではないのでしょうか。
事務局	次回、審議会までに調べてお答えします。
委員	今の金額が適正かどうか検討するうえで、一般の方が聞いて納得されるのは物価指数等に対してどれくらいになっているかということだと思います。ですから、参考までに県内の物価指数が出ていると思いますので、教えていただきたいと思います。
会長	はい。その他、ご意見ありますでしょうか。
委員	議員報酬の件ですが、私の思いは議員 1 人 1 人の資質という問題がやっぱりあると思いますので、そこを評価するにあたって、全体にその給与等々で賄うのではなく、先ほどもお話があったように、やはり政務活動費的なところを重点的に増やした方がいいのかなと思っています。先ほどの来る来ないの話だけではありませんが、一生懸命民間の方が海津市を盛り上げようとして活動しているところに、議員の方がお忙しいのはわかりますが、一度も足を運ばれないとか、実際に現場を見て判断をして、これからの議会運営をしていただきたいところではありますが、やはり見ておられない方がいらっしゃるので、活動するにあたっての報酬という形に手当を伸ばした方がいいのかなと思います。市長、副市長については、こんな感じでいいという意見です。
会長	ありがとうございます。その他、何かご意見ありますでしょうか。
委員	先ほど、委員が言われたように副市長の問題ですが、ほぼほぼ市長代理ということはまずないですね。ほぼゼロに近い。市長から副市長に対して代理でという

	<p>ことは、一切声を掛けてないのではないか。代理のために、ここで副市長をやっているのではないというような話も聞いたことがあります。あと今回、副市長は再任されましたが、賛成が 12 人、2 人が再任に反対されたということで、議員も副市長に対する懸念を持っていると聞きます。委員が言われたように、みんなそういう懸念を持っているんです。噂でしか知りませんが、結構職員に対しても厳しいと、職員も悲鳴を上げているという中で、議員はいろんな意見を聞いて本当に判断したのかなという思いがあり、私も委員と同じような意見を持っています。その辺どうですか。</p>
会長	事務局何かありますでしょうか。
事務局	<p>ご質問にお答えします。まずは代理出席のお話ですけれども、市長の都合が悪い場合につきましては、基本的には副市長が代理でというような形になっています。例えば県内で、重要な会議があった際、市長の予定が重複した場合には副市長が代理で出席しています。市内の行事については、今ご指摘があるように部長が代理で出席されるのが多いかなとは思っております。副市長が行きたくないというようなことではなくて、担当部長が行った方がいいという検討をした上で、部長が代理しています。また、議会での副市長の選任につきましては、賛否を採る前に副市長に対して各議員より、実情を問いかけられたり、こういった意見がある中でどのように考えているか、というやり取りがありました。厳しい言葉もありましたが、各議員が判断され、最終的に 12 対 2 という形になりました。</p>
会長	はい。ありがとうございます。その他どうでしょう。何かございますか。
委員	<p>先ほど皆さんから、今の議員の活動、また副市長や教育長の名前が出ておりましたが、身近であるはずの議員の実際の活動があまりわからないのではないのでしょうか。少し前の時代は、地域でいろいろ懇親会等があったように思っておりますが、最近ではコロナ以降から激減したことで、地域へ顔を出すということも少なくなっただと思います。行きやすい会合を、地区でやってほしいとか、そういう発言があって行動してくれれば良いのではないかと私は感じております。</p>
会長	<p>はい。ありがとうございます。他、何かございますか。</p> <p>よろしいでしょうか。本日は、委員の皆様から貴重なご意見等をお聞きしましたので、次回は報酬等の額について具体的にどうしていくのか、まとめていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。</p>
委員	この審議会は何回開催するのでしょうか。
事務局	過去の例から、審議会は 3 回開催し、最終 4 回目に答申を渡す想定をしています。
委員	答申を渡すのは、年内、年度内どちらでしょうか。
事務局	スケジュールにつきましては、この後説明させていただきます。
会長	では、事務局からの連絡事項をお願いします。
事務局	2 回目の開催日の調整につきまして、11 月 7 日金曜日の午前中又は 10 日月曜日の午前中どちらかで調整をさせていただきたいと思っております。委員の皆様

	には書面でお伝えさせていただきます。今後の見通しにつきましては、次回2回目で月額等についてどのようにしていくのか協議いただいて、3回目に答申の案について、ご審議をいただきたいと思っております。できるだけ早い段階で答申が出せればと思っておりますが、協議の内容や進行具合によるところもあると思います。参考情報としまして前回は年明け2月の末に、答申を出しています。
会長	そうすると4回は予定されているということですかね。
事務局	はい。3回の審議会の後、答申を出す流れですと、合計4回お世話になる予定です。
会長	委員の皆様、そのようなスケジュールで進むということで、よろしいでしょうか。
委員	何年ごとに開催するという審議会ではないのですね。
事務局	定期的には開催しておりません。あくまでも市長の諮問ですので、諮問があればということにはなります。一般質問の答弁にて、今後は定期的にと市長は言っておりましたので、2～3年に1回は諮問されるというふうに思っております。
会長	その他何かございますか。よろしいですか。それでは、以上をもちまして本日の審議会を終了させていただきます。皆様お疲れ様でございました。